

ずし楽習塾 だより

2012. 2

NO. 15

NPO法人ずし楽習塾推進の会

電話・Fax 046-871-7007

URL: <http://zushigakushu.nngo.jp/>

学びあい 教えあい ふれあい

生涯学習活動推進団体

女性の視点からテーマを選ぶ

市民委員と会員と一緒に、女性の視点からのテーマを選び、ふれあい学び合いながら講座をつくり上げてゆくグループがスタートしてから半年、シリーズ「充実して生きるために」の第1回講座が開講しました。第2回、第3回の講座予定は次ページのとおりです。

引き続き複数年かけて広範囲に、掘り下げること視野に入れテーマを選ぶ予定です。市民の皆様のご参加をお待ちしています。

加藤 千洋さんの「未来に残したい日本の原風景」の講演を実現できて

2012年1月28日、厳しい寒さのつづくなかで100名を超える受講者が集まりました。

講師は、朝日新聞社の特派員として長年、中国に滞在され、広大な中国を隈なく歩かれた中国問題の専門家です。一方、現在はBSテレビ番組の風景案内人として、日本全国のあまり観光化されていない地域を歩き回っておられます。私は後者に引かれたのです。この新しい分野のお話を伺えば、「青い海とみどり豊かな平和都市」と宣言された逗子市民として、「何か得るところがあるに違いない！」—市民の立場でそう思いました。

加藤さんご自身で付けられたサブタイトルは「日本は広い・深い・あたたかい」でした。講演というより語りといった方がふさわしいような、ソフトで温かみのある内容のお話でした。

これまでに約45か所の里山・森・海辺・島・川などを歩かれたとのこと。そのなかで特に印象に残った「沖縄の祭り」「新潟・阿賀の小出和紙」「川辺川上流の五ッ木村とダム」「岩手・遠野の馬と木材」「長野・豪雪の秋山郷」「秋田・阿仁マタギ」などの広くて深く、あたたかい話。また、すばらしい風景が一瞬にして地震や津波で壊された「宮城・石巻市や網地島」の話など。

「日本の26倍もある中国と比べれば、確かに日本は狭い。

しかし、全国各地を歩いて感じたのは、江戸時代以降の日本人の教育レベルの高さ・地域ごとに異なった伝統文化がある・それを守り育てようとする人たちがいる、ということ。まさに日本は広く、深く、あたたかい国です」と。

「しかし、高齢者が多く、山や森が荒れてゆく。TPPに参加すれば1.5%しかない農家はどうかという問題もあります。もっと地方と僻地を大事にすることが大切ではないかと感じます」と短くても胸に響く言葉で締めくくられました。



(加藤 千洋さん)

(市民委員 原田 京子)

「暮らしにもっと笑いを」〈笑いの健康学〉

「充実して生きるために」 第2回講座

平成24年2月17日(金) 15時30分～17時 講師 藤井敬三さん

最近、笑いましたか？

「笑う門には福来たる」という諺があります。「幸せだから笑う」のではなく、「笑うからこそ幸せになる」という発想は、ポジティブシンキング（前向きな生き方）そのものです。

笑うことの大切さや効果が医療現場や子どもの教育現場で注目され、実践されています。

健康の敵、ストレスが多い世の中です。笑いでリラックスしましょう。笑いは副交感神経を活発にし免疫力を高めます。特に笑うことが苦手な男性、むっつり不機嫌では病気になるやすいのではないのでしょうか。

また、お母さんの笑顔は子育てに大きな力を発揮します。笑顔に接することで、「自分は愛されている、いろいろなことができるんだ、これでいいのだ」などのメッセージを受け取ります。

藤井先生の「笑顔とユーモアいっぱいの笑いのネタ」を開いて『生涯元気で』で、楽習しましょう！

日本笑い学会 講師、NPO法人「シニア大楽」 副理事長
日本成人病予防協会健康管理士、ユーモア共和国副大統領

人生が楽しくなる講座



「YOMEちゃんとお茶会」

「充実した生活を送るために」 第3回講座

平成24年3月1日(金) 10時～12時 講師 大井純子さん

お茶を飲みながら、料理ブロガーYOMEちゃんの

おいしく楽しいライフスタイル を聞いて、

毎日の生活に活かしてみませんか？



メニュープランナーYOMEちゃんこと大井純子
「YOMEの楽チン☆レシピ」(宝島社)
「YOMEのほめられごはん」(講談社) なお21冊のレシピ本が好評発売中。
よめ膳@YOMEカフェ <http://amebio.jp/yomecafe3/>
は、幅広い年齢層から支持を得て、毎月200万アクセスを誇る。

受講者募集中！

いずれの講座（第2回、第3回）も市民交流センター会議室で開催されます。

23年度 I 型（市民講師企画講座）を振り返って

1月25日の反省会をもって、23年度のI型関連の全ての作業が終了しましたが、振り返ると昨年の3月11日の東日本大震災・大津波、関連して発生した福島原発事故と未曾有の天災、人災事故があり、4月の「広報ずし」で講師募集を開始したものの、市民交流センター内の他団体の会合や、講演会等が一部で中止や延期もみられ不安一杯のスタートとなりました。そのような中で講師については当初28名の応募があり、ほぼ前年並みであったが企画書提出段階で3講座が未提出となり、残りの25講座が7月号の「広報ずし」での受講生募集となりました。募集記事の紙面が昨年までと異なり、「広報ずし」全体のページ数の関係から要求したレイアウトが取れず大幅に面積が削減され、レイアウトも変更となりました。

受講生の応募は「広報ずし」の内容を見てのものが多いため、その発信力のあるページレイアウトの変更を余儀なくされたことによる受講生の応募数の減少につながるのではないかと懸念しましたが、その結果最終延受講者数が683名となり前年の846名と比較すると大幅の減少（163名減）となった一要因ではないかと思われます。

その後の、内部精査と行政との打合せ等を経て、開講する条件的には悪かったが実施講座16の講師・受講生のほとんどが終了後の感想では、それぞれに講座内容はもとより全体の評価も良く、終了後の各講座でのサークル活動に移行していったことには、関係各位と共に喜ばしいことと感謝いたします。

早いもので、2月始めに24年度の講師募集の「広報ずし」の原稿提出に迫られています、前述した25日の反省会での出席講師・関係者からの意見を聴取して、市民のニーズはどこにあるのか、募集方法の最適方法はないか。「広報ずし」の紙面をいかに有効に活用する方法はないかについて話し合い、行政の更なる強力なバックアップを依頼し、応募される講座の定員をいかに確保するかについて具体的に展開する方法を考えていきたい。

（会員 谷道 行弘）



ウッドバーニング



似顔絵とコピー・アート



クラフト紙テープでカゴ作



フランス語 初級

24年度 市民講師募集

ご自身が永年培って来た専門知識、経験、得意な技術や趣味を活かしてみませんか。

講座開設を希望される市民講師を募集します。（詳細は「広報ずし4月号」をご覧ください）

市民講師企画講座として講座の開設・運営や受講者の募集を NPO 法人ずし楽習塾推進の会が支援します。ご関心のある方はずし楽習塾推進の会に相談してください。

ずし楽習塾として初の美術講座開設！

2月27日(月)の第1回『フレスコ画のある街 イタリア探訪』を第1弾としてシリーズ『アートで楽しく！美術講座』がスタートします。

アートに関心の深いアートセラピスト、陶芸家、元アートディレクター等の市民委員のメンバーで種々の企画を練っていきます。

アートで楽しくという事で出来れば講演会などの座学中心だけでなく、大人も子供も楽しめる参加型の講座を作って行きたいと思っています。例えば親子参加で、砂絵を描いてみる、貝殻細工をやってみる、似顔絵を描いてみる、絵本のお話をもとに皆でカラー作品を作ってみる等です。

又時には近郊で開催される著名な展覧会に対応して、有識者のお話を事前に聞き、その上で実地に見学に行く事も考えています。

美術品はあるがまま、自分の感性で見るのが本来の姿か？とも思いますが、事前に作品の背景、エピソード等を知った上で、見学するのも楽しい事と思います。

第1回(2/27)、第2回(3/5)『フレスコ画のある街 イタリア探訪』では知っているようで、知らないフレスコ画(漆喰の上に乾かないうちに顔料で描く)の世界を永森裕子さん(イタリア滞在中に強く引かれ研究されてきた方)にイタリアの街並みのスライドと共に語って頂きます。



(フレスコ画)

フレスコ画のお話と共に、美しいイタリアの街並み、その中にたたく教会及び天井・壁を彩るフレスコ画等を楽しめると思います。

最後にこのような企画に関心のある方には企画検討メンバーとして参加して頂く事も可能ですので遠慮なくご相談ください。(会員 関正義)

ずし楽習塾推進の会が開催している講座は、他に

- ① 「今変わる初等・中等教育 -地域は学校と どう協働するか-」: 市民委員と会員が一緒になり企画しました。教育改革を推進している4人の講師からお話を聴きました。
- ② 「DIYパワー技術講座(木工編)」(DIYパワーの会企画)、「お花のマネージャー養成講座」(ソーシャルフラワーアカデミー企画): 2グループの講座開講を支援しました。
- ③ 「談話サロン」など会員が講座を企画・運営しました。

NPO 法人ずし楽習塾推進の会

会員募集 随時会員を募集しています

2012年1月31日現在正会員:23名 賛助会員:9名

正会員年会費 1000円(一口以上任意) 賛助会員年会費 2000円(一口以上任意)

連絡先: ☎249-0006 逗子市逗子4-2-1 市民交流センター(内) URL: <http://zushigakushu.npgo.jp/>

Tel & Fax: 046-871-7007 Mail: z-gakushujuku@oboe.ocn.ne.jp